

# 秋高同窓会だより

題字は辻兵吉会長

発行者 秋田県立秋田高等学校同窓会  
秋田市手形字中台1番地  
TEL 018(832)9553  
印刷 武内印刷株式会社



## 辻兵吉同窓会長が逝去 (3面)

- (2面) ポラリス 吉村 昇
- (4面) 秋高新管理職の紹介
- (5面) 卒業生の進路状況
- (6面) 恩師訪問 長崎 淳子先生
- (12面) 納涼随想 山本 久博



全県高校総体でインターハイ出場を決めた山岳部員＝森吉山頂付近で

学校創立	1873年(明治6年)9月1日
平成20年	創立135年
卒業生総数	36,076名(平成20年5月現在)
同窓会員数	28,757名
住所判明者	20,746名
在籍生徒数	942名(平成20年4月) (男子562名 女子380名)

理事会  
同窓会入会式  
つどい  
部活動紹介と記録

大学院時代に「放電光」という特異な現象を世界で初めて発見、その縁で名古屋大学から最短期間で工学博士の学位が授与されました。一度は外国の大学で研究をと考えていた時に、アメリカのニューヨーク州にありますクラークソン工科大学からお呼びがかかり、客員研究員として約二年間家族で滞在をしました。二週間に一回の給料や夏時間、冬時間の経験等は初めてでした。オーロラの南限でもあり、滞在中に一回だけ夜中にオーロラを見ることができました。英会話ができ、英語での論文を自由に書けるようになったことが私にとりましては大きな財産になりました。帰国後昭和五十八年四月に教授に昇進、三十九歳の時でした。

## ポラリス Polaris

一人前にプログラムを組めるまでに成長する姿には驚かされます。勉強でも、研究でも何事にも興味を持ち、挑戦して得た知識の吸収は早く、そんな若者の姿には惹かれるものがあります。

秋田高校の学生に医学部志望が多いということは、学校評議員時代に聞かされました。将来ノーベル賞を取るほどの熱意がある学生は基礎医学の道に進み、優れた研究成果を



吉村

## 秋田大学にとつて

### 近くて遠い

## 秋田高校

研究科で構成され、教職員数約千四百人、学生数約五千人の総合大学です。一年間の予算は平成二十年で二百九十七億円で、大館市の一般会計予算二百八十一億円よりも多いこととなります。この他に学生が自宅外通学、いわゆるアパート生活で一年間に使うお金が三十億円程度になり、すので、経済的にはかなりインパクトのある事業所と思っ下下さい。附属病院の役割も

昇 (昭和37年卒)

は大学間の格差はほとんどありません。本人のやる気、情熱、協調性等が大事だと思います。

秋田大学出身者では初めての学長ですが、実は秋田高校出身者でも初めてです。秋田大学の舵取りをする役員にも秋田高校出身者は、新開卓理事(非常勤、前秋田銀行頭取)、渡部文靖監事(前秋田県知事公室長)、熊田亮介学長特別補佐(前教育文化学部長)他先輩、後輩が四人おります。学長に就任して三カ月が経過しました。秋田大学が魅力ある教育、研究、社会・国際貢献をすること、環境の整備を図り、快適な生活空間を形成することが私に与えられた使命と受け止めております。地域の政策、経済、環境、情報、福祉に貢献する人材養成や研究者の養成、更に秋田の高等教育機関のリーダーとして、その中心的役割を果たすことが大事と

思っております。必ずや秋田大学は変わったといえる様な知的集団を創り、見た目にもキャンパス環境が変わったという所をお見せいたします。秋田高校生がキャンパスの中を通過して通学したくなるように創り変えますので、ご期待下さい。秋田大学に入りた「と秋田高校生に言わせるような大学創りを目指します。

## 天上天下

「還暦」「古稀」「喜寿」「傘寿」「米寿」「卒寿」「百寿」などの表現は、いずれも人間の長寿を言祝ぐ気持ちから生まれ出たものである。平均年齢が十五歳前後であったと推定されている縄文時代から現在に至るまでの人類の歴史は、寿命を延ばすことを目的にした、疫病や自然災害などとの絶えざる戦いであったという側面をもっている。▼日本人の平均寿命が八十も半ばに達して世界一を誇っているのは喜ばしいことだが、昨今、長寿を必ずしも祝うべき方向に考えない風潮が出てきたのはゆゆしい問題であろう。主として財政面から七十五歳以上の老人をひと括りにして「後期高齢者」とする扱い方である。▼赤ちゃんとしてこの世に生を受けた人間は、等しく幼少年期・青年期・熟年期などを経て老年期に入っていく。これは人間に与えられた自然な姿であって、そこに人為的に容喙する余地はない。

▼生徒に動詞の活用を教えたりに三角関数を教えたりする前に、教える側の教師を含むすべての大人たちが、もっと人間について学んでおかなければならないと思う所以である。

# 辻会長、長い間ありがとう



秋田高校同窓会第八代会長辻兵吉氏が、平成二十年七月五日ご逝去されました。享年八十二歳。心からお悔やみ申し上げます。  
辻会長は、平成十五年十月以来、同窓会長を務められました。長い間本当にありがとうございました。

うございました。  
会長は、秋田商工会議所会頭、県商工会議所連合会長を長年務めるなど、秋田県経済界のリーダーとして活躍されました。一方、日本バスケットボール協会会長、秋田県体育協会会長等を歴任し、スポーツ振興にも功績を残されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

ていきたい。  
◎速水洋子財政委員長  
十九年度会費納入目標額を百三十万円越え、生徒数減での増収となった。監査の指摘で通帳と印鑑を別にして  
◎工藤雄一名簿委員長  
会員名簿三十九号は九月一日に発行される。個人情報保護法後初の発行なので取扱規程を作成した。

事業計画、予算が承認された。次に役員改選について副会長の増員が提案され昭四十四年卒の三浦廣巳氏が承認された。

## 山谷氏が会長代行に

### 会員名簿39号は9月1日発行

理事 会

平成二十年度第一会理事会は、七月七日(月)午後六時から、秋田市の秋田ビューホテルにおいて約八十五名が出席して開催された。

最初に物故会員と七月五日に亡くなられた辻兵吉同窓会会長に黙祷を捧げた。続いて山谷浩二副会長の挨拶。「五月三十日付けの辻会長の手紙の一部を紹介し挨拶をしたい。『健康を害し五月二十七日まで大病院に入院していましたが、今自宅療養をしています。同窓会について会長代行をお願いします。』何も出来ない私だが同窓会のために尽くし

たい。」

次いで新任の菊谷一校長の挨拶(概略)。「四十四年卒。管理職三人が新任。副校長石井周悦。教頭佐藤健公(共に四十八年卒)。この副校長制は人事面での大きな変化で今まで不足だったスピード、合理性、対外交渉等教育環境整備の面での強化と言える。理科に博士が配置された。大体育館が耐震性に問題があり十月から改築に入る。小体育館も改修する。」  
(生徒数、進学、部活動については別紙面に掲載)  
次に仙波昭彦事務局長からの会務事業報告。続いての常

置委員会報告の概略。  
◎佐々木博良企画委員長  
本年度当番年次は五と六のつく年次、昭三十五〜平三。同窓会の活性化について考え

「だより」八十三号は社長が亡くなられ一部組み替えだが予定通り七月十八日に発行する。  
◎高島清子広報委員長  
続いて議事に入り、十九年度決算が承認され、二十年度

平成20年度の総会を左記により開催しますので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願い致します。  
日 時 平成20年8月17日(日) 午後2時  
場 所 シヤインプラザ平安閣秋田

## 成田裕介氏(映画監督)が講演

### 20年度総会 8月17日、平安閣で

記念講演 成田 裕介氏

演 題 「昭和46年卒・映画監督、宝塚造形芸術大学教授」

懇親会 午後4時30分(会費5000円)

※一般会員で出席ご希望の方は、お手数でも同窓会事務局(☎018-832-9553)にご一報下さるようお願い致します。

## 常置委員会異動

### 企画委員会

(就任) 委員 伊藤 敏郎(学)

(退任) 委員 細川 要(学)

(就任) 委員 三浦 義則(学)

(退任) 委員 高垣 一成(学)

(就任) 委員 山田 恒俊(学)

(退任) 委員 鎌田多恵子(学)

(就任) 委員 橋本 雅之(学)

(退任) 委員 伊藤 敏郎(学)

(就任) 委員 田宮 忠(昭32卒)

(退任) 委員 松岡 直樹(昭61卒)

(就任) 委員 佐藤裕紀子(平4卒)

(退任) 委員 佐藤裕紀子(平4卒)

# 秋高 新管理職の紹介

- ①秋高卒業年次
- ②前任
- ③前任地での主担当
- ④好きな言葉
- ⑤抱負
- ⑥秋高とのゆかり
- ⑦同窓の方々に一言

## 教育環境の整備を図る

校長 菊谷 一

①秋高昭和四十四年卒業

②県教育次長兼総合教育センター所長  
 ③次長として県教育全般に関わる。総合教育センターでは、「土曜講座」を新たに設け、平日の講



座とは違った教師の自主的な研修活動を支援し、互いの教育スキルを高め合う場

とした。(フィンランドの教育事情研究・教育専門監の授業方法伝授・秋大教授や講師を招いての「教師塾」等)Ⅱ昨秋「平成十九年度全国教育研究所連盟共同研究集会」を秋田で開催し、主管した。

④誠実・努力  
 ⑤生徒が夢や希望を育み実現でき

## 知的好奇心喚起の場に

副校長 石井 周悦

①秋高昭和四十八年卒業

②県知事公室総務課長  
 ③Ⅰ「第四期秋田県行政改革推進プログラム」の策定  
 Ⅱ地域振興局の再編による、現八局から



三局への統合推進  
 ④力を尽くして狭き門より入れ  
 ⑤行政経験や今

まで培ってきた人脈を生かし、生徒の知的好奇心を喚起する機会を設けたい。「全国植樹祭」のため来県した建築家安藤忠雄氏の本校での講演会や、東大教養学部の入試に携わる先生による二年生全員の小論文指導(八月二十五日実施)などもその一つ。学校・生徒・保

## 新鮮な目で改善を方策

教頭 佐藤 健公

①秋高昭和四十八年卒業

②県教育庁高校教育課主任指導主事  
 ③Ⅰ「指導班」と「高校改革推進班」を兼務、県立高校の統廃合や学校訪問、ALT業務等に関わ



Ⅱ「英語コミュニケーション推進班」として県内の中高を訪問。授業改善指導を行った。

④天に星、地に花、人に愛。  
 ⑤授業の半分は予習から発展した大学の教養課程レベルを目指した  
 大学の教養課程レベルを目指した  
 い。頭の中身が奇抜な生徒が少なくなつたと感じる。常に新鮮な目を失わず、少しでもおかしいと思つたものは改善していく方策を、

るように、様々な面から支援していきたい。そのためにも教師が生徒と向かい合う時間を確保できるよう、また授業をより深めるための教材研究の時間がとれるよう、教育環境の整備を図っていききたい。

⑥昭和六十一年四月から平成十年三月まで十二年間、本校で生物の教師として奉職。その間、硬式野球部顧問を三年間担当。また、進路指導主事として進路資料集「先蹤」を初めて作成した。

⑦日頃から本校の教育振興のため

護者が一体となって理想の学校づくりを貪欲に進めていきたい。

⑥卒業してから三十五年間、秋高時代の同級生と年三回定例の懇談会を実施している。これからも継続し秋高と関わっていききたい。

⑦秋高に課せられていく社会的役割や期待に心えるべく努力し、今まで以上に誇りの持てる学校にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

職員・生徒と目指したい。

⑥平成七年から十六年まで十年間英語の教師として奉職。その間学年主任・進路指導主事・教務主任をしている。秋高の四季折々の自然が好きで、気持ちが安らぐ。この恵まれた環境での結びつきに生徒も職員も誇りを持ってよいと感じる。

⑦いつでも学校においでいただき、授業参観などしてください。秋高では学校外の方々の人材の活用も考えております。

に、物心両面にわたり特段のご支援をたまりまして、本当に感謝しております。今後ともよろしくお願ひします。

## 平成19年度末 人事異動

### ▽転出・退職(転出先等)

校長	柴田 義弘	北條 範雄	(退) 安藤 巳智子	(秋田南高校教頭)	保坂 ユキ子	(退) 寺田 和夫	(退) 武田 秀雄	(退) 金 森 正也	(公文書館副館長)	橋本 雅之	(天王みどり学園教頭)	佐賀 薫	(聖霊高校)	佐藤 信英	(教育庁保健体育課)	三浦 義則	(由利高校)	岩川 克敏	(五城目高校)	神田 瑞穂	(御所野学院高校)	笠原 清悦	(由利高校)	中山 大一郎	(秋田南高校)
----	-------	-------	------------	-----------	--------	-----------	-----------	------------	-----------	-------	-------------	------	--------	-------	------------	-------	--------	-------	---------	-------	-----------	-------	--------	--------	---------

### ▽転入(転入元)

教諭	神谷 忠昭	事務長補佐	(金足農業高校)	渡部 潤治	(由利高校事務長)	主 任	工藤 久人	技能主任	(建設交通部建設管理課)	佐藤 彰洋	(秋田北高校)	臨時講師	佐京 早苗	(秋田南高校)	臨時講師	吉田 舞子	(十和田高校)	非常勤講師	菅原 優子	(大館鳳鳴高校)	校長	松田 光博	校長	菊谷 一	(教育次長)	副校長	石井 周悦	(知事公室総務課長)	教頭	佐藤 健公	(高校教育課)	教諭	畠山 恒俊	(秋田工業高校)	教諭	沖田 雅子	(角館高校)	教諭	阿部 淳	(盛岡第一高校)	教諭	吉原 東吾	(御所野学院高校)	教諭	小松 弘樹	(横手高校)	教諭	小松 直樹	(秋田南高校)	教諭	伊藤 成孝	(公文書館)	教諭	月本 真	(阿部工業高校)	教諭	阿部 雅彦	(本庄高校)
----	-------	-------	----------	-------	-----------	-----	-------	------	--------------	-------	---------	------	-------	---------	------	-------	---------	-------	-------	----------	----	-------	----	------	--------	-----	-------	------------	----	-------	---------	----	-------	----------	----	-------	--------	----	------	----------	----	-------	-----------	----	-------	--------	----	-------	---------	----	-------	--------	----	------	----------	----	-------	--------

# 平成二十年度 進路状況報告

進路指導主事 庄司 強

## 合格率67%超 進学率は63%

### 今春卒業生の入試概況

今年三月の卒業生総数は318名。国公立大合格者は総数147名(昨年比<sup>(12)</sup>)で、内訳として

は前期79名、後期45名、推薦・A0 23名でした。私立大合格者延べ数は180名(+14)で、一般・センター利用166名、推薦・A0 14名でした。進学者は国公立大130名(-19)、私立大67名(-3)で合格率67%進学率63%という結果になりました。

現役生の主な大学の合格者数は別表のとおりになります。東北24(-2)、秋田27(-1)、東京5(+2)、新潟12(+2)国公立大医学部医学科合格者数は9(-5)となりました。また、私立大では、慶應義塾5(+1)、東京理科大学9(+3)、中央20(+9)、明治16(+3)、早稲田14(+2)という状況になっております。特徴として二点挙げられます。①難関大を中心に、後期試験をとりやめる大学・学部が増

えたため、第一志望の大学に積極的に推薦・A0で受験した生徒が増加した。②過去二年間は浪人数が減少していたが、今年は、第一志望校進学を目指して第二志望校に合格しても浪人する人が増えた。

## 東北6東京3 国・私医学科10

### 過年度卒業生の概況

主な大学の合格者数は、北海道5、東北6、東京3、一橋1、京都1、国公立医学部医学科4、私立医学部医学科6という状況です。意欲を持って努力を継続することにより、第一志望校に合格しています。

## 「入りたい大学」を 目指し頑張る

### 平成21年度入試について

本校生の「入りたい大学」は今後も易化しそうにない状況といえます。よりきめ細やかな指導をし、文武両道を実践し、「入れる大学」でなく「入りたい大学」を目指して生徒・職員とも頑張りたいと考えております。

今後同窓会諸氏の力強いご支援・ご協力を期待いたしております。

### 加藤法律事務所

弁護士 加藤 堯 (昭和35年卒)

弁護士 加藤 謙 (平成2年卒)

秋田市川尻総社町6-3  
電話 018-823-5271

- 教諭 藤田 理 (新屋高校)
- 教諭 長岐 孝一 (大館鳳鳴高校)
- 教諭 野澤 幸子 (金足農業高校)
- 教諭 三春 智弘 (秋田明德館高校)
- 教諭 内田 祐貴 (東京工業大学・院)
- 教諭 長谷部 亮 (金足農業高校)
- 事務長補佐 榊 忠行 (秋田南高校)
- 主任 桑原 智幸 (教育庁総務課)
- 技能主任 米澤 瑞之 (聾学校)
- 臨時講師 大原 かおり (秋田中央高校)
- 非常勤講師 松村 洋 (県立図書館長)
- 非常勤講師 榎 豊 (角館高校)
- 非常勤講師 池内 千尋 (岡山大学新卒)

## 大学合格者数一覽表 (おもな大学)

大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計
旭川医科	1		1	京都	1	1	2
北海道	5	5	10	大阪	1		1
弘前	1	1	2	神戸	1	1	2
岩手	2	1	3	札幌医科		1	1
東北	24	6	30	国際教養	2	1	3
宮城教育	1		1	首都大学東	5	2	7
秋田(教)	10	1	11	国公立計	147	45	192
秋田(医医)	7	3	10	東北薬科	4	1	5
秋田(医保)	4		4	文教	2	2	4
秋田(工)	6		6	青山学院	4	4	8
山形	5	1	6	学習院	6	3	9
福島	4		4	慶應義塾	5	7	12
茨城	6		6	上智	5	3	8
筑波	4	2	6	成城	3	4	7
群馬	2		2	中央	20	16	36
埼玉	5	1	6	津田塾	5	1	6
千葉	4		4	東京女子	4	2	6
お茶の水	1		1	東京薬科	3	1	4
東京	5	3	8	東京理科	9	11	20
東京外国語	1	1	2	東洋	3	2	5
東京学芸	5	3	8	日本	4	7	11
東京農工	1	1	2	法政	5	5	10
一橋	3	1	4	明治	16	10	26
東京芸術		1	1	立教	4	6	10
横浜国立	4	4	8	早稲田	14	13	27
新潟	12	2	14	立命館	3	8	11
金沢	2		2	関西学院	1	3	4
信州	3		3	私立計	180	132	312

恩師訪問

長崎淳子先生

母校で勤務された方の近況をお伝えする「恩師訪問」。十回目の今回は英語の長崎淳子先生。六月九日(月)、同窓会館羽城館にお越しいただき、広報委員、佐藤裕紀子(平成四年卒)がお話しをうかがった。



「ケーブタウン」子供たちと遊ぶ

秋田高校に勤務された頃のことをお聞かせください。

秋田高校には平成二年から十四年間にいました。どのクラスもよく勉強する人が多かったから、私は満足でした。

秋田高校で教えていてすごいと思ったのは、例えば生徒を注意すると、年頃だからなかなか素直にいかない子もいますよね。あきらめて、その子から離れて黒板のほうに戻る間に、級友たちがお前やっっているんだという感じでその子を見たり言ったり。それで注意された生徒もちゃんとやっています。叱って、その生徒と危うい雰囲気になっ

ても、大抵周りの生徒がその場をまとめてくれるというか、平和にしてくれるのね。教室で勉強するときはきちんと勉強する、無駄な時間を先生にも使わせないといい雰囲気でしたね。生徒同士の間関係が大人で、教室の空気は程よく張り詰めてたわよ。

秋田高校での思い出をお聞かせください。

当時楽しかったのは学級対抗ね。柔道は全部見ました。私の決まった席もあつたの。間近で生徒たちが一対一で試合をやって、先生たちも参加するでしょ。先生たちが投げられることもありました。そのときの生徒の顔は忘れられない。甲子園も行ったわよ。春も夏も。夏なんかは、甲子園行きの電車の通路に新聞紙を敷いて寝ましたよ。着いて球場

に入っていくと、あまりにも暑くて、最初に座ったとき、ジユって音がして焼き肉になるかと思いました。かちわり氷の意味が初めて分かりました。桐蔭戦の時、私は最後まで勝ったと思っていたの。みんな騒ぐから、勝って騒いでいると思っていたの。

花園にも行きましたよ。必死になって応援して勝った時は感激でした。

野球部の子達は、私が冬にうぐいす坂でエンコすると、押ししてくれましたね。何人も合宿所の外に出てきてくれてね。

それから、マークリーダー

新しい出会いが収穫

一生懸命好きな勉強を

退職されてからはどのようなにお過ごしですか。

アメリカ映画で老女たちが麻雀をやっているシーンがあったの。それで麻雀教室に一年通いました。

その後、ピースボートで南半球世界一周をしました。佐藤英先生を誘って、百五日間の旅でした。南アフリカでは黒人が住む地域に行つて子供

を買ってもらったことがありました。そのころ英語の成績が悪くて。マークリーダーを、とにかく使うにいいだけ使つて生徒に課題を出したの。曜日によって用紙の色を変えてね。そしたら十一月の肝心なときにカクンと成績が上がつたの。センター試験の平均点は八割をこえました。あのときはうれしかった。マークリーダー様々。

三十の頃に教師としての自信をなくしたことがあります。

自分のものを全部生徒に吸い取られた感じがして。次の年から五、六年、毎年夏休みに自己研修をしました。ア

一人旅。

一昨年は二週間、ドイツに一人旅。

今は囲碁教室に通っているの。おもしろいわよ。新しい友達ができただけは収穫。性別も年代も職業も色々で。それから、日本舞踊をやっています。日本舞踊をする人は八十歳を過ぎてもしなやかに踊っているじゃない。

秋高生へ一言お願いします。

高校生だから、好きな授業をいっぱい突っ込んで一生懸命勉強してほしいと思う。先生よりできる教科がある子もいますよ。



# 約160人、再会を祝う

平成10年卒 卒業10周年記念同期会

平成20年1月2日、秋田ビューホテルで恒例の、卒業10周年記念同期会が開かれた。約160名が参加し、西村主任をはじめ学年部の先生方もまじえて、10年ぶりの再会を祝った。15周年まで、みんな元気でがんばろう。

つどい

東京同窓会の定期総会が、五月に新宿・センチュリーエージェンシー東京で、六十余名が参加して開かれた。恒例のゲストスピーチは、「G8洞爺湖サミットに向けての提言」というテーマで、吉村和就氏(昭和42年卒)が講演。水環境について世界の状況、日本の状況、環境の危機について深く考えさせられた。次に、橋本五郎会長(昭和40年卒)が挨拶で、東京同窓会も故郷秋田のためにもっと活動しようと呼びかけ、続いて、二木幹事長が事業報告と二十年度事業計画案を提案。秋高



東京同窓会  
今年度目標

## 現役大学生と交流 「秋田の酒楽しむ会」開催

同窓会内外との交流を一層活発化する(「秋田の酒を楽しむ会」の開催・現役大学生との交流会・在京秋田県高校同

## 史上初めての OB会入会式

陸上競技部

去る二月一日、同窓会入会式の後、同窓会館会議室で史上初めての「陸上競技部OB会入会式」が挙行された。

主将の樋口君が受験の関係で欠席したが、五名の卒業生



### 秋田県内で働く医師を募集しています!!

1. ご希望の病院を斡旋・紹介。(ドクターバンク)
2. 自治体病院等に従事する医師を県職員として採用。(4年に1度、1年間の有給研修あり)

※ご連絡を頂ければ直ちに資料を送付します。(全国どこでも出張相談します)

URL <http://www.pref.akita.lg.jp>

秋田県医師確保対策推進チーム

TEL 018-860-1410 E-mail [ishikakuho@pref.akita.lg.jp](mailto:ishikakuho@pref.akita.lg.jp)

窓会連合会との協力関係)方針を、予算案とともに承認された。引き続き懇親会に移り、各同窓生の近況報告に耳を傾け、短時間ながらも大変充実した催事で、なつかしの「天上はるかに」を斉唱しながら再会を約し散会した。(二木)が参加した。三船会長の挨拶の後、OB会報第九号と、記念品(わか杉ネクタイ)が、新OB会員一人一人に手渡された。その後、オマケに「アメッコ市の飴」が振る舞われ、終了した。

# 還暦祝いに109人参加

## 昭和42年 卒 同 期 会



団塊世代どまん中の昭和二十三年生まれ組が今年めでたく還暦を迎えた。毎年お盆に開催している四十二年卒同期会は、還暦祝いを兼ねて今年は二月二日に協働大町ビルで開いたところ、当日飛び入り参加三人を含む何と百九人の大盛会となった。

遠くは名古屋から駆けつけた県外在住者十五人を交えて全員が別室で神主のお祓いを

受けた後、来賓の幸野稔、館岡昇一、武田武志の各先生を囲んで記念の集合写真に収まった。

祝宴は物故者への黙祷で始まり、当時応援団長の池田和男君のリードで校歌を斉唱した後、三人の恩師からそれぞれ祝辞をいただき、土崎神明社宮司伊藤茂樹君の乾杯の音頭で開宴となった。

団塊パワーは酒量でも遺憾なく発揮され、会場は大声と笑い声に包まれて気がつくとは杯盤狼藉と化していた。頃やよし、再び池田君のエールで校友会歌を高歌放吟して閉会した。  
(石井 仁)

### 鹿角支部総会



平成20年 6月3日

# 関東同期会に37人

## 34昭和 卒 年 卒

昭和三十四年卒業の「関東在住同期会」が二月二十七日「上野精養軒」で行われた。



十年振りの開催だったが、三十七名が参加、中には卒業以来はじめて顔を見せた仲間もおり大いに盛り上がった。

冒頭、近年亡くなった七名に黙祷。彫刻家の遠藤洪平六君の開会の挨拶、JRスイカ開発の立役者三木彬生君の乾杯の音頭に続き、全員が近況報告した。また、ハワイアン奏者として著名な小出茂君の歌も久し振りに堪能することができた。

関東に在住する同期生は、現在確認できている限りで百四十余名だが、来年三月には秋高を卒業して満五十年とい

### にかほ支部総会



平成20年 2月22日

### 菅原繁雄先生の米寿を祝う

秋高80期三年G組 平成19年11月27日

**かんぽ**  
KANPU  
株式会社 寒風

代表取締役社長  
**菅原 廣悦** (昭和43年卒)

代表取締役副社長  
**菅原 広二** (昭和45年卒)

**インテリアコーディネーター**  
**北林 真知子**  
(昭和45年卒)

㈱テイケイマネージメント  
秋田市山王2-6-25  
TEL 018-823-6550

勇気・決断・実行  
**鈴木明夫税理士事務所**

税理士  
**鈴木 明夫**  
(昭和45年卒)

〒010-0043  
秋田市桜ガ丘二丁目2番地6  
TEL・FAX 018-837-4121

う節目の年を迎えることから盛大に記念パーティを行いたいものなどの意見が多く出された。

最後に秋田に届けとばかりに全員で、声高らかに校歌を歌い上げ、またの再会を期し上野の森を後にした。  
(鈴木陸雄)



# 亡き友を偲び 生ある友愛す

首都圏秋中14日会  
昭和21・22年卒

「秋中14日会」が四月十四日、土崎学区「汀友会」が当番幹事で、新宿小田急センチュリー・サザンタワーホテルを会場に十八名が参加して開催された。

同会は、首都圏に在住する昭和二十一・二十二年卒の同期の桜の集いである。昨年からは今年の一周年に十二名を数える物故者を出し、黙禱を捧げた。

館山俊治君の開会の挨拶に続き和田明常任幹事が経過報告。野口力君の乾杯の音頭。六十余年振り初参加の諸橋達



雄君は  
弁舌も  
爽やか  
ほとんど  
毎年の  
ように  
仙台  
から馳  
せ参ず  
る小西  
忠邦君  
は、今  
や社交  
ダンス  
の能手

## 22人が人生を語り合う 昭和26年卒同期関東地区会



(迷手)と自称。加藤日出男君は、今年「若い根っこ(の会)」創立五十五周年の目出度い年を迎えた。同輩一同は彼に對し、ますますの発展を祈念し激励を贈る。  
宴も終盤に近づき、土田和典君が会計報告。校歌と県民歌を斉唱のあと、写真撮影担当は金沢祐吉君。最後に閉会の挨拶を述べて終宴となった。  
(佐藤菊夫)

昭和二十六年卒同期会平成二十年度関東地区会総会は、六月二日、「土風炉」神田店で、二十二人が出席して開かれた。  
冒頭、この一年間に物故した二名に黙禱。秋田から参加

の真島羊二君の秋田近況紹介などのあと懇談に入った。  
半数以上は喜寿に達した年代であるが皆元氣、それぞれの人生を語り合った。最後にオペラ歌手渡辺幸雄君の音頭で校歌、校友会歌を斉唱、来年の再会を約し散会した。



## 木内鑛生氏を 新会長に選出

秋田市役所羽城会

平成二十年の同窓会秋田市役所支部羽城会総会は、一月十一日秋田ビューホテルで開かれた。

当日は約二百十人が参加。十九年度決算、二十年度予算、役員改選などについて審議・承認され、新会長に木内鑛生氏(昭和四十三年卒)、副会長に豊嶋司氏(昭和四十四年卒)を選出した。

懇親会では、今泉亜希子氏(平成十年卒)がピアノ演奏を披露。新入会員十四名の紹介では、ひとり一人が壇上にあがって挨拶した。  
恒例の校歌斉唱は、紫紺の鉢巻きに白手袋姿の小熊伸司氏(昭和四十九年卒)のリードで全員が声高らかに歌い上げ、最後は鎌田修悦市議会議員(昭和三十三年卒)の乾杯で締められた。



## 離れ小島で 結ばれた絆

秋高二F会

昭和三十三年卒の「秋高二F会」は、昭和四十七年秋に発足、以来毎年のように開いてきている。

今年は一月二十六、二十七日に大仙市の強首温泉郷「椛

峰苑」で、恩師の杉田宏先生を囲み、十二人が参加して開いた。  
駅前校舎柔道場に隣接した二つの教室、そのうちの一つが二年F組。離れ小島のような場所でも勉強した一年。同級生たちが強い絆となって結ばれた。その当時の思い出などを語り合った一夜はあっという間に朝を迎えた。  
来年は千秋公園で、あの当時の子供たちと孫をもまじえて「花見の会」を催すことを誓い散会した。  
(宮崎林次郎)

<p>医療法人 清心堂 <b>湊小児科医院</b></p> <p>理事長 <b>湊元志</b> (昭和55年卒)</p> <p>秋田市中通5丁目7番34号 TEL 018-834-5621</p>	<p> <b>清水歯科医院</b></p> <p>院長 <b>清水隆夫</b> (昭和55年卒)</p> <p>男鹿市船越本町1-29 TEL 0185-35-3737 FAX 0185-35-3080 http://www.shimizu-dc.net/</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 石澤氏に記念品贈呈

## サッカー部 創部60周年の総会



五月二十四日、秋田市のホテルメトロポリタン秋田で、秋田高校サッカー部OB会総会が三十七名出席し開かれた。事業報告、収支決算が報告され、昨年度は現役チームの希望により、通常の支援のほかユニフォームを寄贈した。また、永年コーチ、監督、OB会長と多岐にわたり活躍、貢献して戴いた石澤良一氏（昭和二十七年卒）への感謝の気持ちを込めて、記念品贈呈

を満場一致で決議した。

本年は創部六十周年に当たり懇親会への案内を二百四十通発送、八十名余から返信があった。住居不明者もあり、仲間の音信をもっと伝えてほしいとの要望もあった。

懇親会では、石澤氏への記念品贈呈のあと乾杯。母校グラウンドでの現役チームとの親善試合の話に花が咲いていた。（三十二年卒・国安志郎）

## 剣道部員5名 66年目の集い

昭和17年卒

昭和十七年卒の剣道部員は九名。現在、柴田幸三氏、武田（旧姓村上）政二郎氏、園部俊雄氏、宮田（旧姓山内）敏正氏、根岸秀治の五名が健在である。

四月二十五日午後、全員が羽城館に集まった。まずは記念写真。次に剣道場に行き、久しぶりに揃って竹刀を手にし、秋中時代を語り合う。

宿泊地に移り、緑の美酒を酌み交わすと、自ずと話題は五年生の頃の思い出に。県大会決勝で秋田商業に完勝したが戦争で全国大会は中止となつた。この無念の思いは今も消えていない。



もし全国大会在りしせば、今ごろ校長室に優勝旗が一本増えていただろう、話は次第に熱を帯びてくる。翌朝は、全員が「今回の集いを最後にしてはならない」と堅く胸に秘めながら別れを告げた。（根岸秀治）



## 若き日に戻り 話題に花咲く

昭和15年卒「秋中がんこ会」

昭和十五年卒の在京者が、銀座四丁目の料亭「がんこ」に年二回集まり、互いの近況を語り合う。

以前は「秋中十五年卒東京会」としていたが、現在は「秋中がんこ会」と改め、今回は昨年十一月三日に開いた。会の進行は幹事の役目だが、

各人の話には花が咲き、秋田の話題には殊のほか皆の熱が入り、三時間は以外に早く過ぎた。閉会前に毎度、校歌と校友会歌を起立斉唱、若き日に戻る。この二年間に二名が亡くなったが「一応数名になるまで続けよう」と言っている。（吉田）

## 「つどい」の編集方針について (お知らせとお願い)

- 一、「つどい」の記事は写真を中心に、説明文はなるべく短くして下さい。
- 二、説明文や出席者名簿などの取り扱いは、編集委員会（広報委員）にお任せ下さい。
- 三、締切に間に合った原稿はできるだけ全部掲載するように努めますが、「つどい」の寄稿は毎回数が多く、編集の都合上次回に回すこともあり、ます。なお締切は、夏季号は六月上旬、新年号は十一月下旬となっております。

つどい

# やりたいことを見つけよう

## 同窓会 入会式 古谷薫弁護士が激励

さる二月一日、多数の同窓会関係者の参列を得て、平成十九年度同窓会入会式が本校体育館で行われた。最初に辻兵吉同窓会長(昭和十九年卒)から、「世界中に我々の仲間がいるということをお忘れないうでほしい。秋田高校の卒業生だという誇りと自信を持って、充実したいいい人生を歩んでいただきたい。」との歓迎の挨拶があった。

続いて弁護士古谷薫氏(昭和六十二年卒)より新会員に対する激励の言葉があった。氏が本校を卒業してから自分の歩む道を見つけてくるまでの体験を軸にメッセージが語られ、新会員たちは共感しながら聞き入っていた。氏は、早稲田大学一文で様々な夢を持つ人々と出会い、自分は何になりたいのかを考える中で、人の役に立つ仕事である弁護士を目指す決意をし、法学部を受験し直した。そんな氏から送られたメッセージは次のようなものであった。若いうちは何になりたいかが明確でない場合が多いと思うが、大学を経て社会に出て様々な人



と親交を深める中で夢が見つかるはず。夢はいくつあってもよい。二兎を追わなければ二兎は得られない。心の底からこれをやりたいと思うことこそがとても重要であり、その気持ちがあれば必ずとすべきことが見えてくる。そして、秋高で出会った仲間をいつまでも大切にしたい。大きな可能性を秘めて広い世界に旅立とうとする若者たちを力強く暖かく送り出すメッセージであった。

同窓会からの記念品(三菱の文鎮)は、山谷浩二同窓会副会長から、生徒代表渡部健さんに贈呈された。

## 羽城館企画展

### 石井晴子展

十五回目の今年の羽城館特別企画展は、画家の石井晴子氏(昭和三十七年卒)にご協力頂きました。ふるってご鑑賞下さるようご案内致します。

期 日 七月五日～八月二十九日  
午前十時～午後四時  
場 所 秋高同窓会館「羽城館」  
(土・日曜、祝祭日は休館)

石井晴子展によせて  
過去と現在つなぐ  
風が吹いている

校長 菊谷 一

術教育にあたる傍ら、意欲作



「都会の憂鬱 2007」

を毎年女流画家協会展に出品されてきました。やがて本格的に創作活動を展開、毎年のように個展を開催するなど活躍されております。

石井氏の作品のテーマは風、都市、家族。青を基調とした作品が多く、背景に無機質な都市を配し、憂いを秘めた女性たちが子どもや鳥、犬とともに描かれており、過去と現在をつなぐかのように風が吹いています。殺伐とした都会で生きる現代人の生活空間が表現されているのでしょうか。時間軸と空間軸とが交錯しているように見えます。

生徒会室新館に展示されている「風の街」と題する作品は、二〇〇六年に石井氏からご惠贈にあずかったものであり、重ねて厚くお礼を申し上げます。また、企画展の準備に当たられた関係各位に深く敬意を表します。

毎回好評を博しております羽城館特別企画展が、今年十五回目を迎えました。この企画展は、校史資料館で同窓諸氏の作品に触れることにより、在校生が先輩との絆を深め、母校愛の高揚と感動する豊かな情操を育むことを目的にスタートしたものです。

今回は、主体美術協会会員の画家、石井晴子氏にお願いいたしました。ご快諾いただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。

石井氏は、昭和三十六年三月に本校を卒業され東京教育大学教育学部芸術学科絵画専攻に進まれました。卒業後、専門学校や中学校で若者の美

# 納涼随想

地球温暖化の旗手として、いま、世界の注目を集めているのが、この秋いよいよ限定販売を開始する燃料電池車である。その開発のプロセスや実用化に向けた将来展望にわが秋田県は深い関わりを持つてきた。

十五年前、大潟村で始まったワールドソーラーカーの大会が言わばその生みの親である。国内の優秀な工学系学生と国内大手自動車メーカーのトップエンジニアが英知を競い合い、自然エネルギー(太陽電池)で車を動かす夢の試みの実用化を確立したのである。第一回大会の競技委員長で私のチームの車(ジョンサン号)を設計した大手日社のエンジニアは、全世界の注目する世界初の次世代燃料電池車誕生の中心として活躍している。

私事であるが環境保護を推進する立場にいて、本業(美容業)と無縁の事業に夢になつたのは、根っからの乗り物好きだからである。秋高三年の時、修学旅行を仮病でキャンセル、その旅行積立金を頭金にしてバイクを手に入れた。愛読書は五木寛之の「青年は

荒野をめざす」。愛車で上京し、憧れのロスで修行、美容スタジオを経営しながらも、冒険心は抑えられずソーラー

カーの世界大陸縦断レースに参加し完走。ユーラシア大陸横断、オーストラリア横断三千キロ、太陽光発電と燃料電

池ハイブリッドの究極のエコカーは、次世代の人の夢を運ぶエコカーの未来に展望を開いたかもしれない。

## 秋田は「風の宝庫」

NPO法人環境あきた県民フォーラム代表  
山本 久博 (昭和45年卒)



## 世界 地球温暖化防止の地に

ガソリンの高騰で、燃料の危機が叫ばれている。ガソリンに代わり、車を動かすのが自然エネルギーから生まれる電気。夜間に充電し昼走るのがエコ時代のクルマの未来図かもしれない。地球にやさしいクルマ、そ

の燃料のキーワードは風。秋田県の日本海沿岸が、風力発電に適した国内有数の「風の宝庫」であることがわかった。身近な秋田の風を再生可能なエネルギーにする試算も進み、その本格導入に向けた壮大なプロジェクトが動きつつある。

美しい日本海沿岸の景観美保護という課題もあるが、地球温暖化防止プロジェクトの世界注目の地として、大きな可能性を持つていくことは確かである。真夏の大潟村、炎天下の大会で、汗をしたらたせ、感動を分かち合った学生達のあの目の輝きが忘れられない。それは今、地球を守る壮大な事業に姿を変えた。秋田が世界中に数値で示すことができる地球温暖化防止が「秋田風車プロジェクト」。大いに期待してほしい。

### 高品質・高性能 靴のTOKIO Group

(店舗)  
トキオレディスコレクション 秋田市公営駐車場F 018-831-5662  
トキオフェミニコレクション 秋田市公営駐車場F 018-831-0211  
トキオファッションコレクション 秋田市公営駐車場F 018-831-2220  
トキオメンズコレクション 秋田西武店 018-832-3110

### 株式会社 ニュー東京靴店

代表取締役  
佐々木 宗利 (昭和45年卒)

〒010-0001  
秋田市中通二丁目6番2号  
TEL 018-831-5661

### NPO 法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター

〒010-1403  
秋田市上北手荒巻字堺切 24-2 遊学舎内  
TEL/FAX: 018-839-8309  
URL www.eco-akita.org  
Mail: mail@eco-akita.org



あきた環境優良事業所  
認定制度申請受付中!!  
(認定: 103 事業所)



### 秋田海陸運送(株)

代表取締役社長

渡部 幸男

(昭和45年卒)

### BOUTIQUE Hiratoku WE PRESENT DAYS AND EXCITING TO EVERY FASHIONABLE LADY

### 株式会社 平徳本店

専務取締役  
平澤 敦夫 (昭和45年卒)

本社 秋田市中通二丁目4番4号

TEL 018-833-2228 FAX 018-832-7329

本店ヒラトクインターナショナル イトーヨーカドー秋田店  
アルミス店 イオン秋田SO店 イトーヨーカドー仙台東店  
デ・モール仙台長町店 イトーヨーカドー赤羽店 MIXO秋田サティ店  
MIXO秋田ヨカドー店 フィールドドリーム秋田サティ店  
クリームキャラメルアルミス店 analysis仙台長町店

# 秋の蝶 伊藤 正祥 (昭和三十九年卒)

クロッカス首をそろへて歌ひけり  
 老木の根元確かな花見かな  
 さくさくと採る音軽し初わらび  
 ゆったりと尺八の音や木の芽時  
 コンサート見終へ頬なで若葉風  
 藤棚や一巡の風香気舞ふ  
 花菖蒲阿仁の清水や異人館  
 ヒロシマの石の記憶や蟬時雨  
 朝露に稜線青く黄金の田  
 太極拳止める手先に赤とんぼ  
 秋の蝶右に左に乱舞する  
 旅立つ朋友の枕辺に寒椿  
 ハブラシの齒触りの良き年始め  
 かたかたと靴音高く寒の入り  
 荒海や波の華舞ひGAO静か  
 異国より帰し空港で雪まぶし  
 雪中の千体地藏なに想ふ  
 雪下ろし屋根が息する背伸びする  
 幾千とゆるり降りくるぼたん雪  
 淡雪が溶けて教へ子旅立てる

(悠心句会所属)

## 俳句

### 文芸作品募集

本紙では、随時、文芸作品を募集します。ふるってご応募のほどお待ちしております。なお、採否については、広報委員会にお任せのほどをお願い致します。

#### 一、募集作品

- (1) 詩……本文三〇行以内
  - (2) 短歌……七首で一作品
  - (3) 俳句……七句で一作品
  - (4) 川柳……七句で一作品
- ※各部門とも、必ず作品題をつけてください。

#### 二、応募上の注意

- (1) 氏名と卒業年次を明記し

## 同窓会活動のお手本

秋高同期の絆は素晴らしい。その模範のような先輩達の活動をここに報告する。昭和二十五年卒は還暦を機に結束が強まった。秋高時代を『疾風怒濤』とし、赤い半纏、赤い学生帽、応援旗に、同期の歌「こんな男になりました」まで作って、青春の軌跡再現に挑んだのが十七年前。歳月を忘れた懐かしい語らいと談笑が若さを取り戻したという。

### 昭和25年卒

今年喜寿を迎えた先輩達の在校時代は、まさに戦争、そして、戦後の混乱の真つ最中。校舎を渡り歩きながら苦楽を過ごした若き日の思い出が、

て下さい。

- (2) 全部門に応募できますが、一人一部門につき一編とします。
- (3) 使用する漢字は当用漢字とし、それ以外にはルビを施して下さい。

## 文集を発行 毎月親睦会

その後の人生の波瀾万丈にオーバーラップしたのかも知れない。「生きている証明」として、高校卒業後から歩んだ自らの人生、活躍を単行本にまとめたほか、毎年の会合で文集(名簿+近況)約百二十頁)を発行して、書面で再度青春を謳歌、同じ世代に生きる価値観を美しく見事に共有している。

東大教授、警察本部長、郵政局長、社長、病院長等、全

国各界で活躍する仲間、秋田高校卒を人生の誇りとしているからうれいのである。活動の拠点は、同級生の会社を設置した同期会事務所。年会費千五百円。「生きている証明」として毎年九月の第三土曜日午後五時二十五分を全員集合日と定め祝賀会を開催。さらに、二十五年卒にこだわって、毎月二十五日には、川反の大衆酒場での親睦会も続け、母校校舎建設基金の贈呈まで続けているから立派であ

る。最後に、今年の喜寿祝最新号「ひこばえのつばやき」より一部抜粋。

「秋田高校百四十年になんなんとする歴史の中で、校舎に最も縁の薄かったのが私達の学年である。それだけに苦労を共にした学友ひとりひとりへのいとおしさが強いのであろう。たった六年間の日々が、八十年近い人生の哀歌の多くを育んだ貴重な土壌であったのも不思議に思える。巨大な交流のうねりの、その絆の強さは「いい仲間だった、いい人生だった。よくぞ生きた」とも言い得て、その妙と崇高さにことばもない――

**猿田興業株式会社**  
 代表取締役社長  
**猿田 五知夫**  
 (昭和51年卒)  
 常務取締役  
**猿田 知久**  
 (昭和55年卒)  
 〒010-0951  
 秋田市山王六丁目10番9号  
 TEL 018-863-1550

環境・衛生・下水道・冷暖房  
 空調和給排水設備・設計・施工  
**羽後設備株式会社**  
 代表取締役社長  
**佐藤 裕之**  
 (昭和55年卒)  
 秋田市泉中央2-2-29  
 TEL 018-863-0202

# 新聞委員会

新聞委員会はその名通り年に数回、「秋田高新聞」を発行している。活動自体は単純明快である。しかし、だからこそ自分はこの仕事がこの上ない激務であると思う。なぜなら、広

## 部活動紹介

さにして二面、四面の紙面のうちに、私たちの持てる発想力、文章力、そしてなにより創造力の全てを結集させなければならぬ。いからである。

秋田高新聞は主に学校行事や部活動の成績などを記事にした部分と、自分たちで一か

## 創造力の全てを結集

ら内容を考える「特集」から構成されている。現在は、前者の方に比重が傾いていて、そちらに依存しがちである。これら二つの記事は所謂「新聞の顔」であり、私たちが最

も力をいれ、苦心するものだ。まず、学校行事の記事はどれだけ創造力を働かせるかが鍵だ。秋高祭や卒業式などの秋高生にとって貴重な思い出を文字という姿で如何に遺すか。平凡な記事ではもの足りない。どれだけ生徒の心に残る出を刻むことができるかが肝要である。

「記事は足で書け」とは顧問である細川先生の言葉。良い記事を創ることに最も必要

なことだ。そして、その成果を今度は頭の中で練りに練って、記事に命を吹き込む。しかし、これもまた一筋縄ではいかず、幾度ももの紆余曲折を経て、パソコンの前で小一時間も頭を悩ますこともしばしば。そして、完成した記事を細川先生に校正していただき、最後に推敲を加え、秋田高新聞は完成となる。

次に「特集」。これは文字通りゼロからのスタートである。



「記事は足で書け」とは顧問である細川先生の言葉。良い記事を創ることに最も必要

新聞制作は決して楽なものではない。しかし、仲間と共に、何かを創り上げることは、その忙しさを差し引いても余るほど楽しい。我ら小さな新聞社は、悩みながら、楽しみながら、走りながら、今もそしてこれからも新聞を作り続ける。

## 硬式テニス部が優勝

今年度全県総体は、五月二十三日(金)の陸上競技を皮切りに、県北地区を主会場として開催された。本校は硬式テニス部が五年ぶりに団体優勝。インターハイには、団体個人併せて二種目(硬式テニス、山岳)が出場する。

### 全県高校総体

### 陸上競技

中央支部総体	男子100m	藤澤 健斗	第1位
200m	畠山 真慈	第1位	
3000障害	尾形 翔平	第1位	
400mR	尾形 翔平	第1位	

(高橋、佐渡、畠山、藤澤)	トラック総合	第1位	
女子砲丸投	鎌田 優子	第1位	
全県総体	男子100m	藤澤 健斗	第3位
200m	畠山 真慈	第8位	
800m	田口 大貴	第6位	
1500m	田口 大貴	第1位	
尾形 翔平	尾形 翔平	第7位	

110mH	近藤 道行	第7位	
3000障害	尾形 翔平	第2位	
400mR	尾形 翔平	第3位	
(高橋、佐渡、畠山、藤澤)	棒高跳	船木 大資	第2位
走幅跳	佐渡 夏紀	第4位	
三段跳	佐渡 夏紀	第7位	
混成八種	藤井 翼	第2位	

### バスケットボール

全県総体	男子	1回戦	秋田89-73平 成
		2回戦	秋田105-41鷹巣農林
		3回戦	秋田63-69本 荘
	女子	1回戦	秋田46-49横手清陵

田口 瞭	8位
トラック総合	5位
混成総合	2位
総合	5位

山 岳

中央支部総体

男子

優勝 秋田A 171点

(西村脩平・佐藤琢真・石川岳史・三浦雅孝)

全県総体

第2位 秋田A 170点

(西村脩平・佐藤琢真・石川岳史・三浦雅孝)

ラグビー

全県総体

2回戦 秋田70-12秋田南

準決勝 秋田5-33秋田中央

3位決定戦 秋田38-12男鹿工業

(東北大会出場)

サッカー

全県総体

2回戦 秋田12-0大館

3回戦 秋田2-0本荘

準々決勝 秋田0-5西目

全県総体

剣道

卓球

全県総体

男子団体 第3位

2回戦 秋田3-0横手

3回戦 秋田3-0六郷

4回戦 秋田3-0大曲農業

準決勝 秋田1-3秋田工業

団体

男子予選リーグ 第1位

(2勝0敗)

女子予選リーグ 第3位

(0勝2敗)

男子決勝トーナメント

準々決勝

○秋田3-1秋田中央×

準決勝

○秋田2-2秋田南×

(本数)

決勝

×秋田0-4秋田商業○

(東北大会出場)



女子団体

1回戦 秋田2-3大館国際

男子ダブルス

菊地・伊藤 第3位

男子シングルス

伊藤 伸治 ベスト16

加藤 椋 ベスト16

(東北大会出場)

個人

男子

伊藤 陸 ベスト8

(優秀選手賞)

(東北大会出場)

女子

阿部 茜 ベスト16

(優秀選手賞)

柔道

全県総体

団体

予選リーグ

秋田0-3横手

秋田5-0新屋

テニス

全県総体

男子団体

1回戦 秋田3-0西目

2回戦 秋田2-0大館工業

準決勝 秋田2-1秋田工業

決勝 秋田2-0秋田商業

(5年ぶり10度目の優勝)

男子シングルス

佐々木 啓 優勝

嵯峨 卓 第2位

渡辺 匠 ベスト8

男子ダブルス

佐々木啓・嵯峨 卓 優勝

伊藤紘成・渡辺 匠 第4位

ソフトテニス

全県総体

男子団体

個人

66kg級 近藤 俊 3位

(東北大会出場)

弓道

中央支部総体

女子個人

立花 才加 優勝

予選8射5中、決勝8射7中

全県総体

男子個人

渡部 顕章 予選8射6中

競射5連中 決勝8射2中

2回戦 秋田1-2本荘

女子団体

2回戦 秋田2-1大曲農業

3回戦 秋田0-2秋田北

硬式野球

『春季東北地区高等学校野球大会秋田県大会』

2回戦 秋田3-2合川

準々決勝 秋田2-7大曲工業

軟式野球

春季県大会

1回戦 秋田0-2本荘

水泳

中央支部

男子総合

女子総合

平泳ぎ100m

男子総合 第3位

女子総合 第3位

袴田 真由 第1位

フェンシング

中央支部

男子個人

エペ

一関 公史 第1位

フルール

一関 公史 第1位

全県総体

男子個人

エペ

一関 公史 第3位

(東北大会出場)

バレーボール

全県総体

1回戦 秋田2-1十和田

2回戦 秋田0-2横手

バドミントン

全県総体

男子団体

1回戦 秋田3-0明桜

2回戦 秋田0-3大曲工業

男子シングルス

準々決勝 須藤1-2信田

(秋工)

漕艇

全県総体

男子ダブルスカル

(渡辺孝・三浦健人)

決勝

男子シングルスカル

決勝 鈴木広大 第2位

事務局だより

●平成二十年五月二十六日、羽城館を小玉得太郎さん(昭十八年卒。同窓会現顧問、元副会長)が、訪ねて下さった。平成二年、秋高同窓会と知

道会(水戸一高同窓会)との姉妹提携が実現したが、このたびその際の貴重な資料一式を小玉様より同窓会に寄贈していただいたので、会員の皆様にお知らせします。●今春は、三年に一度の役員

名簿と、五年に一度の会員名簿の発行が重なり事務局も大忙しでした。会員の皆様にも色々ご協力いただきました。ありがとうございました。おかげで会員名簿の原稿は無事、印刷所に引き渡しました。発

行は九月の予定です。●前号「哀悼欄」九月に、藤原尚司(昭37)とあるのは、事務局の初歩的なミスであり、ご本人はイタリア・ミラノにご健在です。ご本人のみならず、関係者の皆様にも大変な

ご迷惑をおかけしました。改めて謝罪と訂正をいたします。●年会費納入は、恐れ入りますが同封の振込用紙を、そのままお使い下さい。

哀悼 (敬称略)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

Table of obituaries organized by month (19th year, 20th year, 1st month, 2nd month, 3rd month, 4th month, 5th month, 6th month).

寄贈図書

- List of donated books including '秋高五期会だより', '獨楽庵切抜帖', '秋田弁なるほど大戯典', 'AFS秋田', '英学の時代―その点景', '鉄の時代史'.

平成20年度広報委員

- List of public relations committee members including 委員長 高島 清子, 副委員長 大和 宇一, and various members like 佐藤裕紀子.